

# 會 告

## 第 四 回 日 本 工 學 會 大 會

部 會

### 日 本 鐵 鋼 協 會 第 二 十 三 回 講 演 大 會 應 募 講 演

- 1) *Ni·Cr* 鋼及び *Ni·Cr·Mo* 鋼の變態及び焼入質量效果に就て
- 2) 燃焼法に依る鐵鋼中の全硫黄定量法に就て
- 3) 1,000 吨熔鑄爐の操業に就て
- 4) 構造用低マンガン鋼の疲勞の強さに關する研究
- 5) 日本標準一號引張試驗片の改正の可否
- 6) 試驗用小型熔鑄爐の研究
- 7) 諸元素の *Al* 中への熔融状態に於ける擴散 (II)
- 8) 特許不銹鋼に就て
- 9) 鹽基性平爐及び鹽基性弧光電氣爐に於ける窒素の性状に就て
- 10) 熔鋼中酸素の迅速定量法に就て
- 11)  $\delta$ -鐵及び熔融鐵の窒素吸収に就て
- 12) 1,100 と 1,150°C の間に於ける鐵の化學變化に就て
- 13) 特殊鋼に於ける滲炭平衡に就て
- 14) 電子廻折に依る一般輕金屬の表面皮膜の研究
- 15) 電子廻折法に依る磨耗の研究 (I)
- 16) 磨 耗 の 研 究 (I)
- 17) 強韌耐蝕性アルミニウム青銅の研究
- 18) 低品位ニッケル鋼の製鍊に關する研究
- 19) 炭素鑄鋼に於ける不純物として錫の二三の影響
- 20) トーマス鋼と平爐鋼の材質比較研究
- 21) 急速可鍛鑄鐵の研究 (II)
- 22) 新装置に依る鐵中の酸素定量 (水素還元法)
- 23) 砂鐵に存在する *Co* に就て
- 24) 純度高き海綿鐵及び屑鐵を原料とせる *Ni·Cr* 鋼の機械的性質の比較 (II)
- 25) 鋼材の火花試験に關する研究 (I)
- 26) 磨耗粉末の被加工履歴に就て
- 27) 鋼中に於ける水素の擴散に就て
- 28) 燒結鐵鑄に就ての二三の考案
- 29) 未 定
- 30) 樹狀晶の構造に就て
- 31) 酸化に依る鋼の水素吸収量に就て
- 32) 高速度工具に關する研究 (III)
- 33) 加壓に依る白點消失の研究
- 34) 鋼の反淬色の研究
- 35) 鋼の異常組織と含有元素及び粒度との關係
- 36) 磁硫鐵鑄に關する研究

下 田 秀 夫	夫
金 森 祥 一	一
松 倉 由 次 郎	郎
田 川 淺 次 郎	郎
元 森 信 夫	夫
八木貞之助	外二名
村 上 勝 二	二
大 倉 幸 雄	雄
高 寺 健 吉	吉
俵 信 次 外一名	外一名
早 矢 仕 功	功
真 殿 統 人	人
山 口 成 一	一
飯高 一郎 外一名	外一名
海 江 田 弘 也	也
小磯 五郎 外一名	外一名
佐 野 正 夫	夫
高尾善一郎 外一名	外一名
菊池 浩介 外一名	外一名
谷 村 熙 和	和
矢 島 忠 二 郎	二 郎
上 野 建 二 郎	二 郎
岩瀬 慶三 外一名	外一名
三島 德七 外一名	外一名
小 坂 誠 市 郎	市 郎
芥 川 武 雄	武 雄
的 場 幸 愛 仁 郎	幸 愛 仁 郎
井 上 澤 光 三 郎	澤 光 三 郎
梅 澤 光 三 郎	光 三 郎
鵜 瀨 田 秀 次	田 秀 次
堀 田 秀 次	田 秀 次
齋藤 省三 外一名	外一名
吉 城 肇 蔚	肇 蔚
岩瀬 慶三 外一名	外一名
森 棟 隆 弘	森 棟 隆 弘

以上の外數題の申込受付たるも最前より會告せる如く今回は幻燈並に活動寫眞は不能と掲示せるにも不拘使用希望申出でられたる故間違ひならんと考へ此所に掲載せず。尙ほ今回は幻燈並に映寫の御世話は出来ませんから重ねて謹告します